

業界が変わるために、 古い商習慣を変える一年に

明けましておめでとうございます。

日頃から日本医薬品卸売業連合会の活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

会長就任以来、各方面の方々にはご指導とご協力をいただいておりますことに心から御礼申し上げます。また、会員構成員企業の皆様には、災害時の緊急対応をはじめ、医薬品の需給調整を含め、平時・有事に関わらず、医薬品の安定供給を通じて、社会的使命を果たしていただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年は、元日に発生した能登半島地震をはじめ、数多く発生した風水害などに、卸連合会としても厚生労働省や地方自治体、会員企業各社と連携を取りながら医薬品の供給に努めてまいりました。これらの災害対応を通じ、私たちはあらためて医療の一翼を担う医薬品卸の社会的使命の重みを認識いたしました。このたびの教訓を生かし、卸連合会ならびに会員企業各社がさらにBCP対応を強化するなど、社会基盤である医薬品流通を担う使命を果たしてまいり所存でございます。

現場においては、長引くジェネリック医薬品等の出荷調整への対応など、大変困難な状況が続いています。引き続き、医療機関、保険薬局、製薬企業の皆様、医薬品卸が一体となって課題や情報を共有し、改善を図りながら、この状況を乗り越えていかなければならないと考えています。

一方で、卸連合会としましては、今もなお続く

医薬品の供給問題を踏まえ、医薬品の持続的な安定供給が確保されるよう「中間年の薬価改定の廃止」を訴え、中医協で意見を申し述べるとともに、行政・国会議員に要望を行うなど、精力的に対応してまいりました。

その理由は、社会経済状況がデフレ基調からインフレ基調へと変化し、人材確保が難しくなるなど、2016年の四大臣合意により、中間年の薬価改定の導入を決定した当時とは環境が大きく異なっていること。また、中間年改定により、7年連続の薬価改定が行われたことで、医療上必要性の高い医薬品の限定出荷・出荷調整が続いており、医薬品の供給に深刻な弊害が生じていること。さらに、医薬品卸の現場では、日々の需給調整に追われ、中間年改定による業務負荷も増大していることなどから、新規採用の応募者が減少し、離職も増加しており、医薬品の安定供給の基盤が揺らいでいるからであります。令和7年度の薬価改定は実施されることが決定しましたが、「中間年の薬価改定の廃止」については、引き続き、様々な場において、要望や意見を申し述べてまいりたいと考えています。

また、適正な価格形成が行われる市場環境の整備に向け、その一丁目一番地となるのが「流通改善ガイドライン」への対応でございます。

私たち医薬品卸は、今まさに、コンプライアンスを徹底しつつ、過去からの「古い商習慣」を変えていく節目を迎えています。今こそ、会員企業それぞれが、自ら変わることが重要であり、自ら



一般社団法人 日本医薬品卸売業連合会
会長

宮田 浩美

を律し、自らの規範にのっとって行動する「自律」と、自らが他者に依存せずに行動する「自立」、この2つの「じりつ」が求められているのではないかと考えています。

特に、銘柄別薬価収載の趣旨にそぐわない総価取引を是正し、得意先の理解を得ながら単品単価交渉を推進することは非常に重要であると考えています。

医薬品卸自らが率先して流通改善に取り組むことはもとより、そのうえで、医療機関、保険薬局、製薬企業の皆様、医薬品卸の相互理解が必要となります。互いに共感し、納得して行動に移すことで、過去からの商習慣が一新されるよう努力を続けてまいり所存でございます。

さらに、昨年は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定やDXの推進などもあり、医療業界全体が大きく変化する中で、私たちが対処すべき課題も山積しています。能登半島地震を教訓とした大規模災害時等における盤石な流通体制の構築、請求書や納品伝票など帳票類のフォーマットの統一化、ならびに、中抜けなどの返品への対応に向けたデータベースの構築などにつきましても引き続き検討を進め、成果をとりまとめまいります。

他にも様々な課題がありますが、卸連合会としてやるべきことを明確にしたうえで実践するとともに、引き続き、業界として主張すべきことは、中医協や流改懇をはじめ、理事会後の定例記者会

見などを通じて申し述べるとともに、より具体的な提案を行ってまいります。

また同時に、私たち医薬品卸の姿や存在意義をもっと世の中に知っていただきたい。そのために、しっかりと業界内外に情報を発信していきたいと考え、卸連合会のホームページを刷新するとともに、広報用パンフレットを作成いたしました。

医薬品卸で働く方々が自信と誇りを持って働ける環境、働き甲斐のある魅力的な産業を目指すとともに、「医薬品卸で働きたい」と次代を担う若者にも共感していただけるよう、広報媒体のさらなる活用や新たな広報施策の展開など、広報活動を強化してまいりたいと考えています。

時代が大きく変化する中であっても、私たち医薬品卸の使命は、平時でも有事でも、医薬品を途絶えさせることなく、医療の一翼を担う者として、国民の皆様の安心・安全な医療に貢献していくこととあります。

「共感しないと行動に移せない」この言葉を大切にし、会員企業の皆様方と共感しながら、一丸となって「古い商習慣を変えること」にチャレンジしてまいりたい。そのことが、私たち医薬品卸業界が大きく変わっていける、唯一の道筋だと思っています。

本年も日本医薬品卸売業連合会に関わるすべての皆様のお力添えをいただきますよう、心よりお願い申し上げます。